

新潟市国土強靱化地域計画 平成27年度進行状況について

新潟市国土強靱化地域計画(概要)

計画期間:5年間

基本目標

- ◎人命の保護
- ◎地域社会機能の維持
- ◎財産及び公共施設の被害最小化
- ◎迅速な復旧復興
- ◎国全体の強靱化への貢献

新潟市強靱化の2本柱

足元の安心安全の確保

大規模自然災害のリスクから、市民の生命や財産を守り、本市の社会経済活動を維持し迅速な復旧復興を可能にする

起きてはならない最悪の事態
16項目の設定



施策の推進方針の設定

救援・代替機能の強化

首都直下地震などの太平洋側の大規模災害に備え、国全体の強靱化に貢献する

国が目指す方針、東日本大震災での
貢献実績及び本市の地域特性



推進すべき5分野の設定

ハード対策とソフト対策の適切な組み合わせ/非常時のみならず平時にも有効活用

足元の安心安全の進行状況

(1) 全体の進捗状況

① 予定どおり進んでいる	55/56項目(約98.2%)
② 予定より遅れている	1/56項目(約1.8%)

※評価不能を除いた
集計結果

(2) 起きてはならない最悪の事態ごとの主な施策の進捗状況①～⑬

① 建物等の大規模倒壊や火災による多数の死傷者の発生

◆ 住宅、建築物等の耐震化

[市有の学校の耐震化率]

目標	100%(H27)	実績	100%(H27)
----	-----------	----	-----------

予定
通り

② 河川洪水や異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水及び海岸侵食

◆ 市街地等の浸水対策

[浸水対策率]

目標	79.2%(H30)	実績	71.1%(H27)
----	------------	----	------------

予定
通り

③ 土砂災害等による多数の死傷者の発生

◆ 土砂災害ハザードマップ作成

[土砂災害ハザードマップ作成・配布]

目標	7区(H27)	実績	7区(H27)
----	---------	----	---------

予定
通り

④ 広域にわたる大規模津波による多数の死傷者の発生

◆ 災害情報発信手段の整備

[新型同報無線の設置数]

目標	8局(H27)	実績	8局(H27)
----	---------	----	---------

予定
通り

⑤情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生

◆災害種別ごとの避難場所の指定 [災害別対応表示看板の設置率]

目標	100%(H27)	実績	100%(H27)
----	-----------	----	-----------

予定
通り

⑥被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止

◆物資供給の協力体制の充実 [物資供給に係る協定団体増加数]

目標	1団体(毎年)	実績	1団体(H27)
----	---------	----	----------

予定
通り

⑦被災による医療機能の麻痺

◆新潟市民病院の機能確保 [新潟市民病院内の災害時医療訓練実施数]

目標	1回(毎年)	実績	1回(毎年)
----	--------	----	--------

予定
通り

⑧市役所及び区役所の被災による大幅な機能低下

◆バックアップ体制の整備 [新消防庁舎にバックアップ機能確保]

目標	機能確保(H28)	実績	通信設備構築(H27)
----	-----------	----	-------------

予定
通り



ヤンマーアグリジャパン(株)関東甲信越カンパニー様との災害時応援協定締結式の様子

⑨電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止

◆通信施設の耐震化等
(NTT東日本)

[NTTグループ防災訓練実施数]

目標	1回(毎年)	実績	1回(毎年)
----	--------	----	--------

予定
通り

⑩地域交通ネットワーク・広域的な基幹交通の機能停止

◆緊急輸送道路上橋梁の耐震化 [緊急輸送道路上橋梁の耐震化率(S55相当)]

目標	100%(H30)	実績	95%(H27)
----	-----------	----	----------

予定
通り

⑪農地の荒廃や生産基盤機能停止による食料供給の停滞

◆農地の荒廃抑制

[田んぼダム取組面積]

目標	6,000ha(H34)	実績	5,019(H27)
----	--------------	----	------------

予定
通り

⑫電力やガス等の長期にわたるエネルギー供給の停止

◆都市ガス施設の耐震化
(北陸ガス)

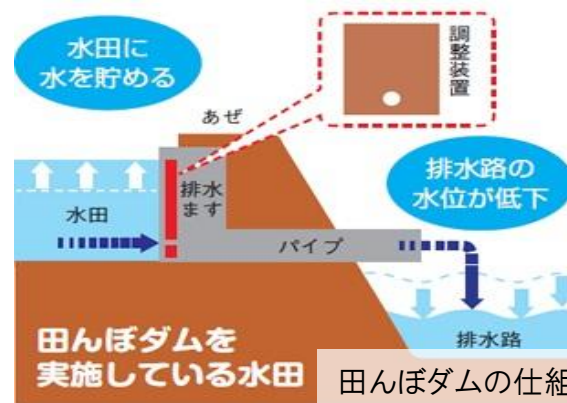
[ねずみ鋳鉄管の入替]

目標	550m(H27)	実績	789m(H27)
----	-----------	----	-----------

予定
通り



橋梁耐震対策工事の例



田んぼダムの仕組み

⑬上水道の長期にわたる供給停止

◆水道施設の耐震化等

[基幹管路耐震適合率]

目標	72.7%(H36)	実績	59.5%(H27)
----	------------	----	------------

予定
通り

⑭下水道施設の長期にわたる機能停止

◆下水道施設の耐震化等

[重要な管路の耐震化率]

目標	43.3%(H30)	実績	45.4%(H27)
----	------------	----	------------

予定
通り

◆災害時応急トイレの整備

[避難所へのマンホールトイレ設置数]

目標	2施設10基(H30)	実績	0基(H27)
----	-------------	----	---------

一部
遅れ

⑮災害廃棄物の処理停滞で復旧・復興が遅れる事態

◆災害廃棄物処理体制の整備

[災害廃棄物処理計画の策定]

目標	策定(H27)	実績	策定(H27)
----	---------	----	---------

予定
通り

⑯地域コミュニティの機能が活かされず被害悪化の事態

◆避難所運営体制の整備

[地域・学校・行政共同の運営マニュアル作成数]

目標	363(H27)	実績	363(H27)
----	----------	----	----------

予定
通り

救援・代替機能の強化

新潟の果たす役割

- 地域特性を生かした被災地への迅速な救援・支援
- 首都圏や太平洋側に集中する諸機能のバックアップ・リスク分散

有事にも機能する
平時からの拠点性
の強化が重要

5分野ごとの施策の推進

- 広域交通インフラ
- 産業機能の集積
- エネルギー拠点
- 食料拠点
- 地域間連携



代替機能強化の取組状況

- 首都圏一極集中のリスクを低減し、本市の持つ優位性を生かして社会・経済活動の代替機能を担うため、新たな成長産業である航空機産業やニューフードバレーをはじめとする産業の集積、企業誘致を積極的に進めるとともに、農産物や食品のアジア諸国への輸出を促進するなど、日本海地域の拠点都市として平時からの機能強化を着実に進めた。

救援・代替機能の強化

日本海側拠点港 新潟東港

港湾



新幹線



上越新幹線 新潟駅

北陸道・磐越道・日東道の結節点
新潟中央JCT

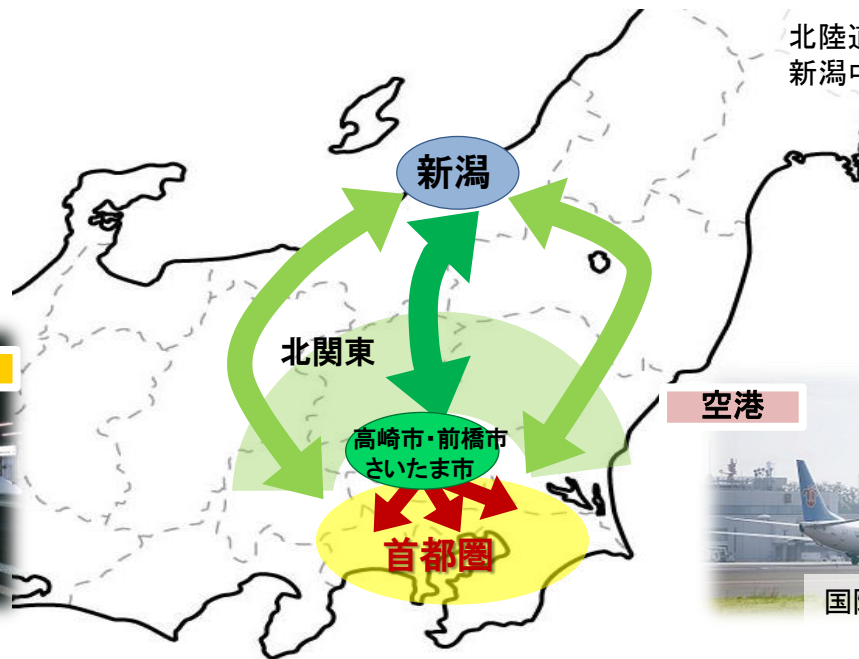


高速道

空港



国際空港 新潟空港



救援機能強化の取組状況

- 「防災・救援拠点」としての役割を果たすため、日本海国土軸の強化と太平洋側との連携強化が必要であり、平成27年度においては、日本海沿岸東北自動車道、国道17号新三国トンネル、国道7号万代島ルート線などで事業の推進を図った。
- 新たに2都市（愛媛県西条市、福島県いわき市）と協定を締結し、災害発生時における相互の応援・協力体制の強化が図られた。
また、これまでに協定を締結した都市が一堂に会した連携会議の開催や、相互に防災訓練に参加するなど、顔の見える関係を構築した。